

人権教育だより

栃木県教育委員会事務局教育政策課人権教育室

『人権教育の授業の実践』の御紹介

栃木県教育委員会では、すべての学校すべての地域において計画的に人権教育が推進されるよう、人権教育の研究指定や人権教育指導者専門研修等を通じて、人権教育に関する指導方法の改善・充実を図っています。今回は、これまでの研究校や指導者専門研修終了者が在籍する各地区の中核的な人権教育推進校における今年度の先進的な取組について御紹介いたします。

特に、県教育委員会が作成し、活用を推奨しているデジタル教材「人権の窓」を積極的に活用した実践が多数ありますので、教材のテーマである「部落差別（同和問題）」、「男女共同参画」や「外国人との共生」に関連した授業において参考にしてください。

実践例1

教科：社会科

テーマ：部落差別（同和問題）

※5回に渡って部落差別（同和問題）に関する内容を取り上げる。

	単元名	取り上げる内容
①	今に伝わる室町文化 （庭造りや芸能）	庭造りや能楽では、身分のうえで差別された人々が活躍した。
②	江戸幕府と政治の安定 （江戸の身分制）	江戸の身分制により、百姓や町人とは別に厳しく差別されてきた身分の人々がいた。
③	町人の文化と新しい学問 （蘭学）	★ 小山市立小山城北小学校の指導事例参照
④	町人の文化と新しい学問 （渋染一揆）	岡山藩で出された儉約令において、差別されてきた人々には、百姓や町人よりもさらに厳しい命令が出された。
⑤	世界に歩み出した日本 （全国水平社）	全国水平社が創立され、差別をなくす運動に多くの人々が立ち上がった。

学校が人権教育全体計画において定めた「育てたい資質・能力」（5つの項目）のうち、**何を育成するか**を授業者がしっかりもつことが大切です。そして、このような内容を本来の授業の一部として取り上げ、「直接的指導」を実践することで、差別解消を図る資質・能力の育成につながります。



実践例1 小山市立小山城北小学校

教科・科目等 社会科（6学年 25名）

本時の目標

杉田玄白、伊能忠敬らの活躍を手掛かりに、蘭学が社会に与えた影響について理解することができる。

育てたい資質・能力等

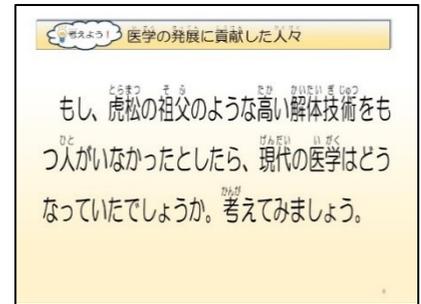
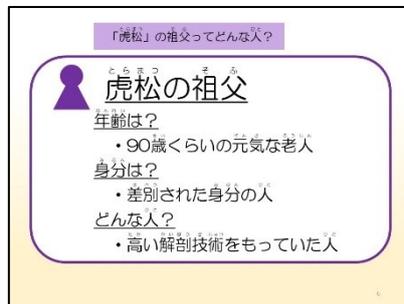
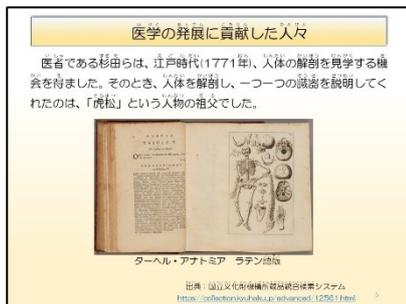
差別されてきた人々が優れた解剖の技術や知識を生かして、医学の発展を支えていたことについて、理解することができる。（知性）

教材 教科書

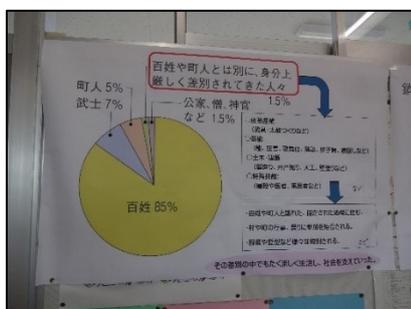
人権の窓（部落差別（同和問題）医学の発展に貢献した人々）を活用した提示資料

展開

- 中国から伝わった解剖図と「解体新書」の解剖図を見比べる。
- 「解体新書」の解剖図がいかに正確なものだったかを理解し、蘭学を学ぶことで社会にどのような影響を与えたのかを意識する。
- 解剖をして内臓を説明した人は、身分制のもとで厳しく差別されていた人だったことを伝え、高い技術をもつ人がいなかった場合現代の医学はどうなっていたかを考える。



- 差別されてきた人々が優れた解剖の技術や知識を生かして、医学の発展を支えていたことを理解する。



教室掲示



- 伊能忠敬が作った日本地図と当時使われていた地図を見比べ、地図を作るための道具や伊能忠敬の功績について知る。
- 学習の振り返りをする。

実践例2 さくら市立喜連川中学校

教科・科目等 道徳科（3学年 33名）

本時の目標

世界の子どもの実態を知り、世界の人々が幸せに暮らすために大切なことについて考えることができる。

育てたい資質・能力等

世界には満足に生活できなったり、教育を受けられなかったりするような子どもたちがいることを理解し、その苦労や痛みを感じ取ることができる。（感受性）

教材

- ・教科書（新しい道徳 3年）「その子の世界、私の世界」
- ・人権の窓（子どもの権利）

展開

- 世界で起こっている問題と自分が幸せなときについてペアで話し合う。
- タブレットを使って、カカオ農園で働く子どもたちの動画を見る。
- カカオ農園で働く子どもたちが一番に望んでいることや、うれしい瞬間について考える。
- 「人権の窓」で「子どもの権利」について確認する。

「子どもの権利条約」4つの権利 それぞれの枠をクリックすると詳しい説明ができます。

生きる権利 <ul style="list-style-type: none">・すべての子どもの命が守られること・防ぐことのできる病気で命を奪われないこと・病気やケガをしたら治療を受けられること	育つ権利 <ul style="list-style-type: none">・教育を受け、休んだり遊んだりできること・考えや信じるものの自由が守られ、自分らしく育つことができること
守られる権利 <ul style="list-style-type: none">・暴力をふるわれないこと・いじめられたり、差別されたりしないこと・むりやり動かされたりしないこと	参加する権利 <ul style="list-style-type: none">・自分に関係することに意見を言うこと・伝えた意見が大切にされること・集まってグループ（団体）をつくり、自由な活動すること

戻る 次へ



- 世界の人々が幸せに暮らすために大切なことについて考える。



学習の様子

授業者の感想

- ・初めは、自分たちとは違い大変そうだと感じていた生徒がいたが、自分たちと同じように幸せな瞬間があったり、うれしい瞬間があったりすることに気付いた様子が見られた。

実践例3 県立那須特別支援学校

教科・科目等 総合的な探究の時間（高等部1・2学年 3名）

本時の目標

世界の国々の言葉や文化にふれることができる。

育てたい資質・能力等

世界にはいろいろな人がいることに気付くことができる。（知性）

教材

- ・タブレット端末
- ・各国の紹介資料（写真、国旗、挨拶、食べ物など）
- ・各国の人のお面
- ・世界の言葉の音声や動画
- ・給食の写真
- ・ワークシート「世界の友達」「旅の記録」・人権の窓（子どもの権利）

展開

- 教師がお面を付けて国ごとのキャラクターに扮し、写真や動画を見せながら紹介をする。
- 世界の友達紹介 ジョンさん（アメリカ） ミナさん（韓国） マリアさん（メキシコ）
- ワークシート「世界の友達」に顔写真を貼り付け、名前と国名を記入する。
- 各国の挨拶の仕方を模倣する。発声が難しい生徒は、音声ボタンを使用したり教師と一緒に身振りで表現したりする。
- 世界の給食文化について知る。
- 好きな色や食べ物などについて考え、各国の文化に対してお互いの違う所や同じ所を知り、共通点や多様性、個々の違いの良さについて理解を深める。



←学習の様子

授業者の感想

- ・各国の挨拶では様々な言葉があることを知り、難しい発音に挑戦したり、発音が難しい生徒は教師の挨拶に合わせてお辞儀したりする様子が見られた。
- ・教室で給食を食べているため、国によって食事場所や食事形態、メニューが異なることがとても新鮮な様子であった。

実践例4 市貝町立市貝小学校

教科・科目等 道徳科（1学年 20名）

本時の目標

自分のよいところ、好きなものがあるように、人それぞれよいところや好きなものが違うことを知り、「自分らしさ」を大切にすることができる。

育てたい資質・能力等

お互いによいところを伝え合うことができる。（技能）

教材 ・教科書

展開

- 教科書を読み、登場人物のよいところ、苦手なところを確かめる。
- 自分の長所や短所を見付ける。
- 人権週間に実施している「たいせつなあなた」を活用する。ペアになった相手のよいところを見付け、記入する。
- ペアでよいところを伝え合い、どう思ったかを発表する。
- 本時の振り返りを行い、一人一人のよさや違いに気付けるようにする。



←作成した掲示物

授業者の感想

- ・自分のよいところを見付けて書くことが苦手な児童が多くいるので、担任のよいところや自分のよいところを発表し合い、それを参考に記入することで取り組むことができていた。
- ・相手のよいところに気付くよい機会となった。

実践例5 県立富屋特別支援学校

教科・科目等 自立活動（小学部4学年 11名）

本時の目標

自分が好きな色のカードを選んだり、友達が好きな色を知ったりすることができる。

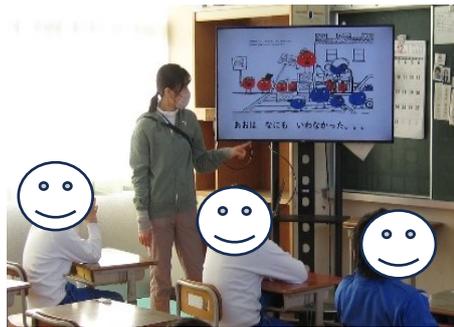
育てたい資質・能力等

互いに違いがあることを知り、認め合うことの大切さが分かる。（知性）

教材 ・絵本「まざっちゃおう！」 ・セロファン色カード（赤・黄・青）
・タブレットPC ・テレビ

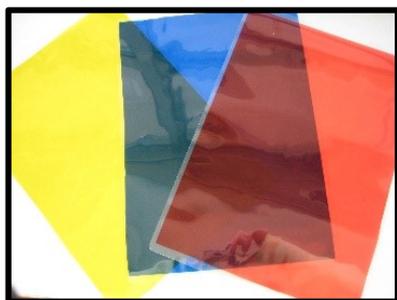
展開

- 3色（赤・黄・青）のカードを見て、何色が答える。
- 絵本「まざっちゃおう！」の読み聞かせを聞く。



←絵本の読み聞かせの様子

- 絵本の読み聞かせを行った後、セロファンの色カードから好きな色を選ぶ。



セロファンの色カード



学習の様子

- 教師の言葉かけを受けて、それぞれ色の好みが変わることを知る。
- 友達が選んだ色カードと重ね合わせて、新たな色ができる様子を見る。
- 絵本の内容を振り返り、「違う色もいいな。」と互いの好きな色を認め合ったことを確認する。
- 学級内でも「互いに好きな物が違う」ということを伝え、互いの違いも「いいね。」と感じられると良いことを知る。

実践例6 県立岡本特別支援学校

教科・科目等 自立活動（小学部2学年1名、6学年1名）

本時の目標

表情に注目して気持ちを考えることができる。

育てたい資質・能力等

相手の笑顔を見て、うれしい気持ちになっていることに気付くことができる。（感受性）

教材

- ・教科書（こくご☆☆） P20、21
- ・表情のイラスト（うれしい顔・怒った顔・泣いた顔）
- ・優しくされた場面、好きな気持ちを伝えられた場面のイラスト

展開

- 本時の学習内容を知る。
- 「表情のイラスト」を見て、違いを考える。
- 発語の少ない児童は、教師と一緒に「表情のイラスト」と同じ表情をして、表情や気持ちの違いを確認する。
- 「どんなかお」の動画を見ながら、手遊びをする。
- こくご☆☆P20、21 や「気持ちを考えるためのイラスト」を見て、登場人物の気持ちを想像し、「表情のイラスト」から同じ表情を選んだり、言葉で気持ちを表したりする。
- 友達の好きなところを考えて紙に書き、交換し合う。
- 自分の好きなところを伝えられたときに「うれしい気持ち」になっていることを確認する。
- 「表情のイラスト」を確認しながら様々な気持ちがあることを確認したり、友達の好きなところを書いた紙を読んだ感想を発表したりして、学習を振り返る。



学習の様子



校内掲示